

# 欧州 ～ゆく年くる年～

経済調査部 主席エコノミスト 田中 理(たなか おさむ)



## 選挙イヤーを終えて何を思う

2017年の欧州の政治情勢を振り返ると、前年の英国民投票や米大統領選後に広がったポピュリズム台頭の不安に明け暮れた1年だった。3月のオランダ議会選、4・5月のフランス大統領選、9月のドイツ連邦議会選、10月のオーストリア議会選と、欧州の主要国で重要な選挙が相次いだ。4年に1度のドイツ議会選と5年に1度のフランス大統領選が重なるのは20年に1度。英国も6月に前倒しで下院選が行なわれ、年前半にかけてはイタリアの前倒し総選挙の可能性も繰り返し浮上した。結局、イタリアの総選挙は2018年に持ち越されたが、欧州連合(EU)の7大国のうち5ヶ国の国政選挙が集中する選挙イヤーだった。

その選挙結果は、反EU・反グローバル化・反イスラム・反移民・反エスタブリッシュメントを掲げる政治勢力が相次いで躍進したものの、事前に不安視されたほど悲惨な結果にはならなかった。特にフランス大統領選で極右のルペン候補を破り、親欧州派のマクロン大統領が誕生したことは、ポピュリズム台頭の流れを断ち切る出来事として歓迎された。その後、スペインのカタルーニャ州で一方的な独立の動きが表面化、ドイツの連立協議が決裂、オーストリアで排外主義的な右派政党が連立入り、英国のEU離脱協議の難航など、不安要素には事欠かないが、経済好調もあり、金融市場を大きく揺るがす事態には発展していない。

### 資料1 欧州の経済政策不透明感指数の推移



(出所) "Measuring Economic Policy Uncertainty" by Scott R. Baker, Nicholas Bloom and Steven J. Davis at [www.PolicyUncertainty.com](http://www.PolicyUncertainty.com)  
 (注) 各国主要紙に掲載された「経済」「政策」「不透明感」に関連したキーワード検索のヒット数を標準化

## 改革イヤーとしたい安定の年

2018年の政治日程を確認すると、反体制派政党の躍進と選挙後の政権発足の難航が不安視されるイタリア総選挙、2019年3月末の協議期限が迫り、佳境を迎える英国のEU離脱協議を除けば、大きな政治イベントは見当たらない。ドイツで新政権が発足し、イタリアの選挙を無難に通過すれば、欧州の政治不安はさらに後退しそうだ。勿論、事前に判明していない政治イベントが急浮上する事態も十分に想定される。特に最近の欧州では、議会の過半数を確保していない非多数派政権が多く、政局流動化のリスクがつきまとう。

経済・政治がともに安定している2018年は欧州が改革に取り組む絶好の機会との声が多い。だが、危機をバネに改革を前進させてきたのが欧州の歴史だ。逆に言えば、危機が目前に迫らない限り、改革は停滞しがちだ。意見の食い違い多岐間の政策調整と、痛みを強いる改革を受け入れる世論形成には、危機という触媒が不可欠な面もある。

景気の好転や選挙不在の影に隠れているが、ポピュリズム台頭の背景にある欧州の様々な問題が解決した訳ではない。格差の拡大と定着、貧困増加、難民や移民の社会統合による軋轢、EUの官僚主義と民主主義の赤字、汚職や政治腐敗など、不満の芽は渦巻いている。安定期を迎えた2018年は改革の行方に注目したい。好機を逃せば、次の景気後退や次の選挙で新たな不安に襲われよう。

### 資料2 欧州関連の主要日程

|       |          |                     |
|-------|----------|---------------------|
| 2018年 | 2・3月頃?   | ドイツの新政権発足時期(未定)     |
|       | 3月4日か11日 | イタリア総選挙の有力日程        |
|       | 3月頃      | 英国のEU離脱協議・移行措置の合意目標 |
|       | 4・5月頃    | ハンガリー議会選            |
|       | 5月23日    | イタリア総選挙の実施期限        |
|       | 8月20日    | ギリシャ三度支援プログラム終了期限   |
|       | 9月まで     | ECB資産購入の終了期限        |
| 2019年 | 9・10月頃   | ドイツ・バイエルン州議会選挙      |
|       | 秋        | 英国のEU離脱協議・事実上の協議期限  |
|       | 3月29日    | 英国のEU離脱協議期限         |
|       | 5月頃      | 欧州議会選挙              |
|       | 10月31日   | ECBドラギ総裁任期          |

(出所) 各種報道や発表資料より第一生命経済研究所が作成